

平成22年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会 会議録

- 1 日 時 平成22年8月5日（木） 午後2時～午後3時30分
- 2 場 所 宇都宮市立東図書館 2階 集会室
- 3 出席者
〔委員〕 山荷フサ子委員，増田 宗夫委員，小谷 和弘委員，手塚 好子委員，
山口 康夫委員，小林 充佳委員，石川 賢委員
（欠席 大塚千枝子委員，大金 武夫委員，山口 京子委員）
〔事務局〕 福田視聴覚ライブラリー所長ほか職員4名
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 なし
- 6 議 事
（1）報告事項
①平成21年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績について
②平成21年度視聴覚ライブラリー予算収支について
③平成22年度視聴覚ライブラリー運営目標について
④平成22年度視聴覚ライブラリー事業計画について
⑤平成22年度視聴覚ライブラリー予算について
（2）委員提案事項
（3）その他

7 発言の要旨

委員長：（1）報告事項「①平成20年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績」及び「②平成20年度視聴覚ライブラリー予算収支」について、関連があるので、一括して事務局より報告をお願いします。

事務局：【資料に基づき一括して報告】

委員長：ただいまの「利用状況及び事業実績」と「予算収支」について、質問等がありますか。

石川委員：「施設別利用状況の推移」のところで、試写室の利用が急激に増加しているが、DVDの貸出し増などに関連しているのですか。

事務局：幼稚園や保育園の卒園ビデオ制作が増え、その編集過程での試写や先生方が各種発表会で活用するDVD資料などの作成過程での内容確認などで使うケースが急激に増えていることが主な原因と考えられます。

委員長：視聴覚教材が前年度に比べ、減少したのは、新型インフルエンザの影響で多数の映写会が中止になったことが大きな原因となっていると思われる。

委員長：他に何か質問はありますか。

各委員：（特に発言等無し）

委員長：特になければ、続いて「③平成22年度視聴覚ライブラリー運営目標」、「④平成22年度視聴覚ライブラリー事業計画」及び「⑤平成22年度視聴覚ライブラリー予算」について、関連があるので、一括して事務局より報告をお願いします。

事務局：【資料に基づき一括して報告】

委員長：ただいまの「運営目標」、「事業計画」及び「予算」について、質問等はありませんか。

増田委員：本年度は、ライブラリーが主催で開催する「映画会」について、新聞やラジオなどいろいろな機会で見たり、聞いたりすることが多く感じられます。

事務局：本年度、特に日本映画で戦前戦後の名監督による名作が、不特定多数のお客様を対象に無償でなら上映できる権利の付いたDVDが発売され、当ライブラリーでもこれらの多くの作品を購入し、4月から上映を開始したところ、市外の方からの問い合わせも含め、反響は大きく、満員盛況の入りとなりました。そのため、ニーズに応えるため事業計画を見直し、8月以降、これまでの月1日午後1回上映を改め、午前・午後の2回上映に見直しを図ったところです。

増田委員：先日、車で通勤途中、地元のラジオで「おくりびと」の上映が紹介されたので驚きました。

事務局：「おくりびと」は、不特定多数の人を対象に無償での上映権の付いたDVDが発売され、当ライブラリーで購入したので、今後、いつでも利用ができます。

委員長：視聴覚ライブラリーだけが上映できるということだけでなく、団体が借りて、利用することも可能ということですか。

事務局：映画会で上映の日本映画だけでなく、「20世紀名画座」で上映しているDVDなども含めて可能ですので、是非、ご活用下さい。

山口（康）委員：教材の利用状況を見ると、16ミリフィルムが減り、DVDが急激に伸びている。しかし、DVDにしてもブルーレイなど新しい再生機器が発売され、ライブラリーでは十分な対応が困難なのではないですか。

事務局：情報技術等の進展が早くなってきている中、本市でもかつては、備品は基本的には買取りであり、壊れないと切り替えができず、修繕で賄いながらできる限り長期間利用してきましたが、近年では技術の著しい進展に伴い、新しい製品を確保するため、5年間のリースという方法が主流となった整備手法に変わってきています。

今後、リースに切り替える際、技術の進展に遅れないよう、新しい内容に組み直すなど、対応して参りたいと考えております。

事務局：県内には、県も含めた市町村等ライブラリーで組織する集まりがあり、県あ

るいは国の状況について伺うと、良好な運営を継続する上で、まずは職員の技術力が不可欠ですが、その上でなおかつ新しい機材・教材を適宜状況に応じて確保していくことが益々重要になってきています。そうすると当然費用負担が伴ってくるため、視聴覚の必要性は認めるが、経済状況等が影響し、店じまいせざるを得ない、あるいは継続はするが現状維持が精一杯で新規の機材等の購入は無理などのいろいろな動きが見られるところです。そのような中、本市では限られた予算を有効に活用し、工夫をしながら、機材や教材の整備充実に努め、これらの貸出しは全国でも誇れる実績を残してきています。

本市でも予算は前年度比マイナス・シーリングで年々減額される状況ですが、ライブラリーのようにスタジオやパソコン室など有料貸出施設をもっており、使用料収入があれば、その部署の特定財源歳入として、歳出予算に反映させてくれるシステムになっています。このため、減免制度があり増額させていくことは難しい面もありますが、少しでも多くの収入を得るため努力し、歳出予算の確保を目指すとともに、効率的な執行にも更に取り組んで参りたいと考えております。

事務局： 先程、渋谷区から 16 ミリフィルム寄贈の申し出があり、受入れた話をしましたが、こういった情報があればこちらからも手を差し伸べるなど、お金をかけないで財産を増やすといったことにも努力して参りたいと考えています。

また、家庭等に眠っているかもしれない古い映像などの発掘も、市民の皆様と呼びかけるなど継続して取り組んで参ります。先日、ある学校を通して昭和 4 年の古い貴重な映像が発見されるなどの成果がありました。

委員長： 他に何か質問はありますか。

各委員： （特に発言等無し）

委員長： 特になければ、続いて、(2)委員提案事項 に移らせていただきます。

ライブラリーの運営や事業などに対するご提案あるいはご意見をいただければと存じます。

山荷委員： 視聴覚ライブラリーの活動内容が理解でき勉強になりました。幼稚園、保育園で、視聴覚機材や教材を利用する機会は多いが、操作に疎く、うまくできないことがあります。このような時、気軽に相談できる窓口がある、ということで安心しました。幼稚園連合会としても会員に広く周知し、もっと機材・教材の利用拡大に努めたいと思います。

事務局： 当ライブラリーでは、機材の貸出しの際、必ず安全な操作方法や取扱いを説明しながらお渡ししております。

増田委員： 新製品の出ない 16 ミリ映写機は、適正なメンテナンスを行いながら良好な維持に努めている、とのこと。また、貸出時の操作研修をきめ細かに行っている事に敬服しました。ブルーレイなど最近の機材は機能が多すぎる傾向があるが、機材の貸出しにあたっては、基本的な事項をしっかりと指導していただければ、

機材の安全な維持管理に結びつくと思います。

小谷委員： 機材の利用が年々増えていることは喜ばしい。今後も少ない人数で大変と思うが、益々の利用促進に努めていただきたい。

手塚委員： 職場でパソコンを使い、ビデオ編集をしているが、機器やソフトの共通性の無さからトラブルが起きる事が多い。でも、そんな困った時、視聴覚ライブラリーの教材制作室の存在を知っていたことから、最終的には相談すれば良い、という安心感がありました。私は委員の立場からこの存在をわかっていましたが、まだ知らない人が沢山いると思うので、是非とも更なる広報周知に努めていただきたい。

山口(康)： 機材・教材の利用状況を見ると、障がい者福祉施設の利用がかなり多い。

委員 障がい者に配慮した教材、例えば、目の不自由な人には特別な音声入り、耳の不自由な人には手話入り、といったものは無いのですか。

事務局： 図書館ともからんでの話ですが、ボランティア団体が耳が不自由な人を対象に広報紙の内容を音声テープに吹き込んで情報を提供してあげるなど、そういうものを作る場としてライブラリーの施設を活用しているケースはあります。

教材の貸出しにおきましては、障がい者福祉施設の利用者の方から、障がい者用の教材について、特に相談や要望は受けてはおりませんが、当ライブラリーにおける障がい者用のバリアフリー作品は、子ども用アニメにおいて少数あるだけで大人用は保有していません。今後、障がい者も楽しんでもらえるような作品の整備にも努めて参ります。

石川委員： 一点目として、ライブラリーの活動を広く知ってもらうため、ホームページを充実し、見てもらえるようにしてほしいということ。市の広報紙にはアドレスなど分かるように入っていますか。

二点目として、ライブラリーで制作しているビデオ教材は、学校のワイドテレビ ハイビジョンに対応できるよう配慮されているのですか。

事務局： 市の広報誌では、毎月定期的に掲載している「映画会」の紹介欄のところにアドレスが載っています。また、市のホームページからもアクセスできるようになっています。

ビデオ教材については、撮影、編集段階において、ハイビジョンに対応できるよう配慮し制作しております。

委員長： 他にありませんか。無ければ、次の「(3) その他」に移ります。

委員の皆様及び事務局から何かありますか。

各委員： (特に無し)

事務局： 次回会議の開催日程につきまして、お伺いいたします。当ライブラリー運営委員会は年間2回の会議を予定しております。次回の開催につきまして、来年の2月の開催を考えており、具体的な日程は委員長と協議の上、決定いたしたいと存じますがいかがでしょうか。

委員長： ただいま、事務局から次回の会議の開催日程について、説明がありました。来年の2月ということで、私と事務局で調整することとしてよろしいでしょうか。

各委員： （「結構です。」との声あり）

委員長： 他に何かありますか。

事務局： ご報告とご相談がございました。

まず、8月10日に開催が予定されております「第14回視聴覚教育総合全国大会」で、当ライブラリー運営委員会の小林会長が、全国視聴覚連盟から「視聴覚教育功労者表彰」を受けることが決定いたしましたのでご報告いたします。誠にめでたうございます。また、当全国大会で当ライブラリーの渋谷主事が、本市の活動状況が活発で優れているとのことで、主催者から依頼があり、事例発表を行う予定であります。

次にご相談ですが、本日、せっかくの機会でもあり、委員の皆様にお時間があり、ご希望があれば、会議閉会后、当ライブラリーが所有するDVDを視聴いただければ、と存じますがいかがでしょうか。

委員長： 委員の皆様いかがでしょうか。

各委員： （視聴希望有り）

委員長： それでは、他に無いようですので、以上を持ちまして本日の「視聴覚ライブラリー運営委員会」を閉会いたします。

長時間にわたり、熱心なご審議をいただき誠にありがとうございました。

<閉会后、DVD視聴> ※石川副委員長退席

①平成21年度視聴覚ライブラリービデオ教材制作委員会 小学校理科部会制作
『川のはじまりを探そう』（10分）

②日本映画劇場で上映

※21年度ライブラリー購入した上映権付DVD。今年度好評につき紹介。

『青い山脈』（今井正監督）の冒頭一部